

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスYUEN		
○保護者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41世帯 (42名)	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども中心の個別支援の充実 利用児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援計画を作成し、日々の支援に反映できている。子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めており、保護者からも概ね高い評価を得ている。	・個別支援計画に基づいた目標設定と振り返り ・職員間での定期的な情報共有とケース検討	・活動内容や評価結果の定期的な情報発信の強化
2	安心できる環境と職員の対応力 活動スペースの確保や安全面への配慮を行い、落ち着いて活動できる環境を整備している。また、職員間で情報共有を行いながら、子どもの状況に応じた柔軟な対応を心掛けている。	・子どもの成功体験を積み重ねられる支援 ・安全面への配慮とリスク管理の徹底	・支援内容や成長の様子について、より具体的なフィードバックの実施
3	保護者との相談体制 保護者からの相談や困りごとに対して丁寧に対応する姿勢を大切にしている。日々のやり取りを通じて信頼関係の構築に努めており、子どもが楽しく通所できているという声も多く寄せられている。	・保護者との日常的なコミュニケーションの確保	・保護者交流の機会づくりの検討 ・緊急時対応マニュアルの周知方法の見直し

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の頻度・具体性 活動内容や評価結果の共有が十分に伝わっていないケースがある。情報発信の頻度や内容の充実が必要である。	・日常支援を優先する中で、文書化や情報発信に十分な時間を確保できていない	・面談時における支援内容の具体的説明の強化
2	緊急時対応等の周知不足 事故・災害時の対応マニュアルは整備しているが、保護者への周知が十分とは言えない面がある。	・周知方法が一方向的で、理解度の確認まで至っていない	・緊急時対応についての説明資料配布・説明機会の設定 ・保護者交流会や情報交換の場の検討
3			